

中央大学特定課題研究費 一研究報告書一

所属	総合政策学部	身分	教授
氏名	服部龍二		
NAME	Ryuji Hattori		

1. 研究課題

（和文）現代日本と国際政治

（英文）Contemporary Japan and International Politics

2. 研究期間

2021 年度

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）

申請者は約 30 数来、近現代日本の外交と東アジアの国際政治について、主として外交史・国際政治史的なアプローチから研究してきた。具体的には、拙著『外交ドキュメント 歴史認識』（岩波新書、2015 年）、拙著『中曽根康弘——「大統領的首相」の軌跡』（中公新書、2015 年）、拙著『佐藤栄作——最長不倒政権への道』（朝日新聞出版、2017 年）、などの政治外交史研究を行ってきた。公文書研究としては、拙著『外交を記録し、公開する——なぜ公文書管理が重要なのか』（東京大学出版会、2020 年）を公刊している。これと並行して、谷野作太郎／服部龍二・若月秀和・昇亜美子編『外交証言録 アジア外交 回顧と考察』（岩波書店、2015 年）のようなオーラルヒストリーを実施してきた。これらは、国際関係・外交史研究の素材を提供するものであり、研究者や実務家、ジャーナリストなどによって広く活用されている。本研究ではそれらを踏まえ、とりわけ日本の対外政策の視点から日米中外交史の研究を発展させた。その成果は、*Japan at War and Peace: Shidehara Kijūrō and the Making of Modern Diplomacy* (Canberra: Australian National University Press, 2021); *China-Japan Rapprochement and the United States: In the Wake of Nixon's Visit to Beijing*, translated by Graham B. Leonard (London: Routledge, 2022); *Japan and the Origins of the Asia-Pacific Order: Masayoshi Ohira's Diplomacy and Philosophy*, edited by Graham B. Leonard (Singapore: Springer, 2022, forthcoming) として公表された。

（英文）

The results of this study were published as follows:

Japan at War and Peace: Shidehara Kijūrō and the Making of Modern Diplomacy (Canberra: Australian National University Press, 2021); *China-Japan Rapprochement and the United States: In the Wake of Nixon's Visit to Beijing*, translated by Graham B. Leonard (London: Routledge, 2022); *Japan and the Origins of the Asia-Pacific Order: Masayoshi Ohira's Diplomacy and Philosophy*, edited by Graham B. Leonard (Singapore: Springer, 2022, forthcoming)